あおい通信　第179号

第179号　令和2年４月1日
リハビリテーション
デイサービス葵・編集委員会
練馬区東大泉3－17－5
カトウビル3F
電話　03－3978－0919

日本三大〇〇　大杉谷「日本三大〇〇めぐり」

大杉谷（おおすぎだに）
三重県多気郡大台町の宮川上流、吉野熊野国立公園内にある渓谷。日本国の天然記念物（天然保護区域）に指定されている。

大杉谷の景観。巨岩が埋め尽くす

２０１６年（平成28年）３月にはユネスコの生物圏保護区（ユネスコエコパーク）「大台ケ原・大峯山」が拡張され、大杉谷もその一部となった。同時にユネスコエコパークの登録名称も「大台ケ原・大峯山・大杉谷」に変更された。近畿の秘境とも呼ばれ、黒部峡谷、清津渓谷とともに日本三渓谷、日本の秘境百選の一つにあげられている。

日本の滝百選である七ツ釜滝を筆頭に、手付かずの原生林と数多くの滝、渓谷の巨厳で著名である。

大杉谷へは宮川第３発電所と大台ケ原を結ぶ登山道を歩くしかない。途中、大台ケ原山麓に１本だけ交差する林道（大台林道：一般車通行禁止）があるが、宮川沿いには登山道があるのみである。アップダウンが激しく急峻な断崖にある。登山道は、千五百ｍ程度の高低差があるため、大台ケ原から下る行程を選ぶ人が多くいる。２００４年の水害で、宮川沿いの登山道は６年間通行不能であったが（大台ケ原から大台林道までは当時でも通行可能）、２０１０年10月から堂倉滝・七ツ釜滝間以外は通行可能になり、２０１２年８月11日から不通区間手前の粟谷小屋・桃の木山の家間について大台林道等を迂回する林道コースが開設され、大台ケ原～宮川第三発電所間の通行が可能になった。その後２０１４年４月、光滝付近の崩壊箇所の登山道が整備され、全線開通となった。

七つ釜滝

登山道の管理は、日本国及び三重県から委託を受けた。公益社団法人大杉谷登山センターが手掛けている。２０１９年（令和元年）現在、入山料の徴収は行っていないが、「協力金」として年額千円の寄付を求めている。

堂倉滝

東西南北

実習生が来日できない

新型コロナウイルスの感染拡大で、予定通りに来日出来ない外国人技能実習生がでている。

農作業に就く実習生では、少なくとも約８００人いる事がわかった。来日が遅れれば、これから本格化する春野菜の収穫に影響が出る可能性があり、農家は人手確保に苦慮している。全国農業協同組合中央会（ＪＡ全中）は、２月下旬に全国の農協などに緊急調査。具体的な人数の回答があった。

北海道、茨城、群馬、千葉、愛知など９道県だけで、予定していた３６０人の受け入れに見通しが立っていないという。中国人実習生は、中国政府の許可が出なかったり、春節で一時帰国した後に再来日ができなくなったりしている。カンボジア人やベトナム人の実習生が来日を取りやめるケースもある。中家徹会長は「農作業が計画通りできず生産が減少する恐れがある」と話す。

９道県以外にも、同様の動きが広がっている。技能実習生の受け入れが多いのは、収穫が重労働で人手がかかる野菜や果樹だ。

全国トップのレタス産地の長野県。県農政課、農村振興課によると、３月９日時点で３月末～４月に予定していた４３７人の中国人実習生の来日の見通しが立っていない。代わりに日本人の働き手を探しているが、確保のめどは立っていないという。同課の担当者は、「レタスを収穫する５月中旬までに来日ができなければ、生産が減少することなる。販売額が最大１０億円減る恐れがあり、国レベルの問題で我々では手の打ちようが無い。なるようにしかならない。」担当者はいう。

K・ドラゴン

談話室

昨年終盤から新型コロナウイルスが世界的な規模で感染者を増やし高齢者は肺炎を発症し死亡に至るなど、恐怖の病原菌が流行り、暗い話題ばかり連日報道される。そんな中、「雪中に、桜咲く」史上最速、気象庁は東京の桜（ソメイヨシノ）が３月１４日開花したと発表した。この日は上空の寒気と低気圧の影響で都心は真冬並みの寒さとなったが、前日までの暖かさで蕾の成長が進み１９５３年からの観測史上最速を記録した。平年より１２日、昨年より７日早い。東京２３区（特に練馬区の降雪は本格的な降りであった）では雪やみぞれが降り、午後の２時の気温は２・５度となった。桜の標本木がある靖国神社では例年、開花宣言を見届けようとする人で賑わうが、あいにくの寒さや、新型コロナの影響も加わって外出を控えているせいもあってか人影もまばらの中、気象庁職員が宣言の条件である５輪以上の開花を確認した。この日の日中の気温は全国的に平年並みか平年より低く、都心を含む関東の一部地域は冷たい風が吹いた影響で特に寒くなった。気象情報会社は「３月に入り、暖かい日が続いていたので、いつ咲いてもおかしくなかった」と指摘している。

３月１７日頃までは全国的に寒い日が続き１８日頃から気温が上がる見込み。日本気象協会によると東京の桜の満開は２３日と予想していた。

ヨッチャン

葵友の会　広報コーナー

３月の報告
１３日（金）総会と食事会。谷原「木曽路」。１２名の参加。

３月のカラオケは中止になりました。

４月の予定
１７日（金）カラオケ

２０２０年度もよろしくお願いいたします。皆様の参加をお待ちしています。

（事務局）

◆編集委員会より
「あおい通信」は皆様からの原稿を募集しています。係員・飯島

利用者さんの紹介コーナー

山本　和之（月）

この頃は活動範囲がせばまってきてちょっと寂しいです。葵に来ると皆さんが一生懸命にやってくれるので嬉しいです。昔はカラオケが大好きでした。

高橋　静江（水）

昔から小物を作ることが好きでした。葵では、友達もできて楽しいです。好い場所を紹介してもらったと思っています。

ボリビアの想い出

原口秀子

主人の勤務で南米のボリビアに住んでおりました。私共の滞在したボリビアは、南米大陸のほぼ中央に位置し、周囲をアルゼンチン、ブラジル、チリ、ペルー、そしてパラグアイの５ヶ国に接し海を持たない国です。

高い山々に囲まれた盆地状の高原で、熱帯低地に比べて気候はしのぎやすく、年間を通じ気温の差がなく日本の秋といったところです。

私共がラパスを訪れるに当たり注意されたことは「飛行機から降りたら一歩一歩ゆっくり歩くこと、普通に歩いたら呼吸困難を起こし大変なことになるから」との事でした。標高４０８０ｍのラパスの空港から赤茶けたラパスの市街が一望出来ます。ラパスの中心街は３７００ｍの高地にあります。主人の仕事は５１００ｍ人間の居住の限界での生活でした。生活に馴染むまで時間がかかりました。

お湯は80度で沸騰します。ご飯は圧力釜を使用、茶碗蒸しをすれば中身が飛び出している始末。

木々の成長も遅く樹木は国の保護で伐採が禁じられているというお国柄です。病原菌は空気が薄いので育ち難く非常に衛生的ですが、納豆菌などの育成は大変だとの話でしたが、私共は二世の方々の涙ぐましい努力で美味しい納豆の供給も受けておりました。ボリビアの経済発展の障害は海がないことで、物資の輸送は総てアンデスの山超えです。

ラパス

それにアンデス高原の乾燥地帯では主な産業もなく、生活は大変だとおもわれますが、彼らはひたむきに生きていました。道端で僅かな野菜を並べて座り込んでいる無表情な物売りの姿、荒涼たる大草原の中を羊の群れを追って黙々と歩くインディオの姿、また厳しい生活の狭間であろう公園でのアベックの語らい、本当に心豊かで悠久の時の流れを感じさせられる風景でした。

喧騒とした日本を離れて全く違った異国の文化に身を置いての２年間のボリビア生活、大変なこともありましたが、また、たくさんの素晴らしい出会いがありました。共に暮らし親しんだアンデスの風景、総てが懐かしく思い出はしっかりと瞼に焼き付いています。

老いのたわ言

山村匡子

洗い物をしていると背後のＴＶから「フライパンにサソリと少しの水を入れて火にかけます…」という声が飛び込んで来て、思わず振り向くと、画面にはアサリが映っていた。若い料理講師本人も直ぐに自分の言い間違いに気付いたが上がってしまったのか言葉が出てこない。横からの「アサリと水少しをフライパンに入れて火にかけるのですね」との助け船が出てクラムチャウダーが出来たが、アサリをサソリと言い間違える程、アサリは我々の生活から遠いものになったかと思ってしまった。

以前「とりにくって何の肉」という番組で、平成生まれの回答者３０人中数人がとりにくは「飛んでいる鳥の肉」と答えていたが、確かに私達の若い頃迄、霞網で小鳥等を捕獲していた。狩猟法で食用の捕獲は禁止され、とりにくと言えば鶏肉と思われて来たのに、若い女性回答者の一人が飛んでいる鳥という自説に拘り、この女性が母親になったらどんな子育てをするのかと要らぬ心配をしてしまった。

考え方や知識だけで無く、若い方達の言葉も随分違っている。「ワーッ、何これ、このパン、ヤバイ！」とは何の事か解ります？「何これ、ヤバイ」は今や誉め言葉になっている？？？又ＴＶの話で恐縮だがサイパンに旅行中のアラサー、アラフォー、アラフィフの女性タレント三人が、満天の星に挙げた感嘆詞が若い順に、「ワー、ヤバイ」「すごーい！」「キレイ～」で、台本のセリフでは無いと思うが、言葉の変遷を聞いたようだった。

私達利用者年代は、信じられない程の変化を経験したし、便利になった生活を享受している。時代とともに変化するのは当然だが、日頃自分の食べる物の材料や調理法に無関心で、外食やコンビニ食で備蓄もなしに暮らしているだろう若者達が、大災害時に生き延びる知識や術があるのだろうか？言葉が違っても世代間の意思疎通が出来るか、心配である。

キッチン

川俣孝子

今年は我家の柚子が沢山の実をつけてくれました。お天道様からの贈り物かなと友人におすそ分けしました。お鍋に、おひたしに、飲み物の中に、おうどんの中に、柚子味噌も作り、大根、とうふ、こんにゃく、魚、肉に、色々と重宝に使いました。新芽に付く青虫を割箸で採り除きます。来年の収穫を期待して。

郷土食

和歌山県「めはりずし」

日本最古のファストフードかもと記してありました。刻んだ高菜漬け等を具材にしたおにぎりを高菜の葉で包んだ郷土食、目をみはる程、美味しいことが由来だそうです。

めはりずし

島根県「うずめ飯」

質素倹約の時代に役人に見つからないようご飯の下に具材をうずめた事が由来の一つのようです。

うずめ飯

古今抄（長期利用者様の紹介）

飯島　弘志

Ｈ30年1月9日から通所

葵まで徒歩で通っていますが、全く苦になりません。なる様にしかならないのでまかせていきたいと思います。明るくたのしく脳天気がいちばんです。

黒田　雛子

Ｈ30年3月2日から通所

色々な出身地の方とお知りあいになってお話を聞けるのが楽しい。ＮＴＴに勤めていたので地方の事はよくわかるので地方の方の話は特に楽しい。

デイサービスという場所へ来てよかったけど、国はお金がかかるから大変!!

小暮　誠二

Ｈ29年12月1日から通所

葵さんへ来て午後には麻雀や将棋が一緒に出来る友人も出来てとても楽しく通っています。

週に2回の、火と金をとても楽しみになって大変感謝しています。

自画像

看護師　松永恵美

私は以前派遣で、デイサービスで働いた経験があります。

葵での勤務開始当初利用者様の多さ、楽しい様々な行事があることに驚きました。

あれから４ヶ月がたち今では私もドリップコーヒーにはまり、おいしいお昼メニューをわが家のご飯に取り入れています。皆様のお役に立てるよう頑張ります。ご指導のほど宜しくお願い致します。